

Hiroshima Shudo University

後援会だより

2025
Vol.

23

I love it!

Yummy!

Delicious!

THE NORTH FACE

「しゅうまる」

広島修道大学後援会

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1
Tel. (082) 830-1116
<https://www.shudo-u.ac.jp/kouenkai/>

広島修道大学
公式マスコットキャラクター



100円朝食 キャンペーン実施中!!

学生限定(要学生証)

このキャンペーンは、新生活を始める新入生や忙しさで朝食を抜く学生に健康的な生活習慣を身に着けてもらうことを目的に、後援会の支援により今年度はじめて実施されたものです。当初は、4月から5月末までの期間限定で始めましたが、学生の皆さんにアンケートをとったところ、大きな反響をいただき、6月末までの延長を経て、さらに年度末までの継続が決定しました!! 表紙の写真は、100円朝食キャンペーンの様子です。

再延長
期間

2025年 2025年
7月1日(火)～7月29日(火)、
2025年 2026年
9月22日(月)～1月27日(火)の授業日(101日間)

学生の声(一部抜粋)

- ・一限の授業の前に毎回利用しています。1日頑張る活力になるし、なにより頑張って早起きをしようと思えてありがたいです。ぜひ、これからも続けてくださると嬉しいです!
- ・100円という安さで、温かく栄養バランスのとれた朝食が食べられることが一番の魅力です。食費の節約になるだけでなく、忙しい朝でも手軽に健康的な食事ができるため、生活リズムが整い、集中力も高まります。
- ・金額が良心的で何より美味しい。
- ・朝練した後の腹ごしらえにもなるし、朝早く通学する理由になり、活力をもらえる。
- ・家が遠くて家で朝ごはんを食べられない時があるので100円で食べられるのは嬉しいです。
- ・大学の100円朝食キャンペーンは、学生の健康維持や生活リズムの安定に大きく貢献する素晴らしい取り組みだと思います。経済的負担を減らし、学業への集中を後押しするこの活動は優れた施策だと思います。
- ・一人暮らしの学生としては、朝食を100円で食べられることはとてもありがたい。ぜひ、長く続けてもらいたいです。
- ・いつもは節約のため、朝食をとっていなかったが、100円朝食のおかげで朝食をとることができるようになりました。ずっと続けてほしいです。
- ・100円でこの高いクオリティーの朝食を食べられるのはこの上ない幸せです。

おにからセット(フォレスト)



朝カレーセット(アルカディア)



食べるスープパスタ(マリオターヴォラ)



いずれか1種類

※100円を超える金額を後援会が支援します。
※メニューは変更になる可能性があります。

目次

Contents

後援会会長あいさつ	2
— 学生の充実した学生生活のために —	
学長あいさつ	3
— 300年のさらに先へ —	
学部長からのメッセージ	4
— 会員の皆さまへ —	
特集1	
2025年度 後援会総会・教育懇談会等	6
2025年度後援会総会報告	6
2024年度後援会事業報告	7
2025年度後援会事業計画／2025年度後援会役員名簿	8
2024年度収支決算	9
2024年度事業基金特別会計収支決算／貸借対照表／預金等内訳	9
2025年度収支予算	10
2025年度事業基金特別会計予算	10
講演会	
「Z世代」の力を引き出す親の関わり方～「Z世代」はこう動かせ～	11
芝浦工業大学教授 原田 曜平氏	
2025年度総会・教育懇談会等アンケート集計結果	14
特集2	
新体育館、完成間近!!	16
完成までの道のり／新体育館 設備案内／内部の様子	
学生Voice	18
ゼミ活動、実習科目紹介	20
それぞれの家族の物語	22
Campus navi キャンパスナビ	24
教学センター	26
学生センター	30
学習支援センター	36
国際センター	38
ひろしま未来協創センター	42
キャリアセンター	44
2025年度教育・進路相談会開催のご案内	48

表紙に登場の、広島修道大学 公式マスコットキャラクター 「しゅうまる」について

2025年に迎える修道学園創始300周年を記念し、広島修道大学公式マスコットキャラクター「しゅうまる」が誕生しました。「しゅうまる」の愛称は、公募により、本学学生が考案しました。



広島修道大学後援会とは

広島修道大学後援会は、「会員と大学との連繫を密にし、会員相互の親睦を図るとともに、大学の教育研究活動を後援することを目的とする」組織です。

大学の創立当初より設けられており、本学に在籍する学生の保証人（保護者）を会員としています。



広島修道大学後援会 会長

藤井 知幸 (ふじい ともゆき)

学生の充実した学生生活のために

平素より、皆さま方には後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

去る、5月24日に多数の保証人の皆さまにご出席いただき後援会総会を開催し、今年度の後援会活動をスタートいたしました。

「後援会」は、広島修道大学に在籍する学生の保証人の皆さまを会員とする組織で、「会員と大学の連繫を密にし、会員相互の親睦を図るとともに、大学の教育研究活動を後援すること」を目的として、大学創立当初より設置されています。

具体的には、①活動内容を決める総会、理事会、評議員会の開催 ②学生生活に関する助成 ③教育懇談会、教育・進路相談会の実施 ④大学の現状説明・講演会等の催し・就職活動に関する保証人向けガイダンス等の実施 ⑤広報活動 ⑥卒業に関する助成 ⑦特別事業の実施 など、保証人の皆さまと大学とのつながりや、学生の教育・生活環境の向上をサポートするための事業をおこなっています。

なお、教育・進路相談会については、9月から10月にかけて本学会場及び福山市・松江市・山口市で開催いたします。教職員の方々と直接情報交換ができる貴重な機会となっており、各会場において、卒業生の方による就職活動に関するプレゼンテーションも予定しておりますので、多くの保証人の皆さまにご参加いただければと思います。

近年、後援会では、過去より継続して行っている全国レベルで活躍する学生・サークルへの奨励、就職活動支援などに加え、学生生活の質の向上にむけた取り組みに力を入れております。

今年度は、入学、進級などライフサイクルが大きく変わる年度当初に「100円朝食キャンペーン」を企画いたしました。期間限定で開始した本取組ですが、学生の皆さんより大変高評価を得ていることから、年度末まで延長し実施いたします。学生を対象として実施したアンケート結果をもとに、改善できる点は見直しを図りつつ展開してまいりますので、保証人の皆さまからもお子様にお声がけいただければと思います。

今年は、修道学園創始300周年という節目を迎える記念すべき年となっております。この記念すべき年に、広島修道大学に通う学生の保証人としてご縁をいただいた皆さま方と力を合わせて、学生が様々な挑戦に取り組める環境を整え、学生一人ひとりがより良い未来を描けるよう教職員の皆さまと共に全力でサポートできればと考えております。

今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

300年のさらに先へ



広島修道大学 学長

矢野 泉 (やの いずみ)

後援会会員の皆様には、日頃よりキャンパスライフや教育環境の充実のために、多大なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

2025年度、広島修道大学を設置する学校法人修道学園は創始300周年を迎えました。学園にとってのこの大きな節目の時代に在学する学生の皆さん、またその保証人の皆様に長い歴史をもつ教育機関で学ぶ意義や価値をしっかりと感じていただける大学であろうと、教職員皆で、教育や学生支援により一層励んでいます。

さて、その「修道」という校名の基となっているのは、中国の古典『中庸』にある「天命之謂性 率性之謂道 修道之謂教」、すなわち「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものにする（道を修める）のが教育である」という言葉です。これまで、私自身もこの文章を引用し、広島修道大学は、天性、すなわち一人一人が天から授けられた個性を見出し、それをしっかりと伸ばしていく教育を行っていく学び舎であるという話を様々な場所で行ってきました。

その理念は不変ですが、近年の激しい環境変化に触れる中で、学生の皆さんには自らの軸を持ちながら、さらに新たな道を切り拓き成長してほしいと考えることが増えてきました。そのような時、心に浮かんだ言葉が「君子曰 學不可以已 青取之於藍而青於藍 冰水爲之 而寒於水」というものです。中ほどの2行「青は藍より出でて藍より青し」を耳にしたことがあるという方も多いのではないかと思います。現代語訳は「学問に終わりはなく、学び続けるものである。青色は藍の葉から生み出されるが、それは元の藍よりもさらに青い。氷は水からできるが、いったん氷になると水よりももっと冷たい。」となります。藍の葉で染められた織物が原料である藍の葉以上に鮮やかな色になるということから、「学び続けることによってもともと持って生まれた素質を超えてさらによい成果が生まれる」ことを意味しています。そこから転じて、この文章は知識や技術において弟子が師匠を越えるという意味でも使われています。

学生の皆さんにこれからもずっと学び続けてもらうためにも、学ぶことの面白さに気がつく機会や、それによって自分の可能性が広がる体験を、広島修道大学としてしっかりと提供していきたいと思います。学生の皆さんが、さまざまな学びを通じて、保証人の皆様や先生たちを超えるような大きな人間になるのが楽しみです。

商学部



広島県の「転出超過日本一」って、どゆこと?

商学部長 ^{かわ}川 ^せ瀬 ^{まさ}正 ^き樹

本学卒業生の大半は、広島県内かその近隣県に就職しています。そこに「県外流出が増えている」というデータはありません。

最近、マスコミ等が「広島県は転出超過日本一である」と危機感を煽っています。しかし、県内私大の卒業生の多くは広島県内に就職しています。「転出超過」は、「転入人口－転出人口」がマイナスであることを意味しています。広島県は県外への転出は横ばいなのに対し、県外からの転入が減っているため、転出超過が大きくなってきているのです。

それはそれで課題なのですが、「就職のための県外流出が増加」というのは誤解を生む表現です。県外に就職する広島県出身者の多くは、大学進学時の18歳ですでに県外に転出しており、転出先での就職時に住民票を広島県から移す人が多いため、統計上、22歳での県外転出が多く見えているのです。

私は県外進学が悪いとは思いません。「かわいい子には旅をさせる」ことは良いことです。むしろ、その人たちがUターンしたくなる広島県になるべきです。本学から広島県内に就職する卒業生たちが頑張っ、広島を魅力ある県にしてほしいですし、それを担う人材に育ってくれたら嬉しいです。

人文学部



“問い”を立て、“問い”に挑む

人文学部長 ^{やま}山 ^{かわ}川 ^{あゆ}肖 ^み美

人文学部では「現代社会の課題を理解する能力の育成、コミュニケーション能力の育成、そして情報リテラシーの習得を通して、地球的視野を持つ人材の養成と個性的、自律的な人間を育成すること」を教育目標に掲げ、社会学、教育学、英米文学・英語学・英語教育学の各カテゴリーから、人間とは何か、どう生きるべきかという“問い”に挑むことを特徴とします。

さて、この特徴を学部から学生へ主体を転換して捉えなおすと、“問い”に挑むのは学生自身ということになります。そして学生は“問い”に挑む前に各自にユニークな“問い”を立てることが求められます。「どう生きるべきか」と問われても、この大きく普遍的な問いを指針に行動したり進む道を考えたりすることは困難なため、各自の志向性や近い将来の選択肢に照らしつつ、個別・具体的な生き方の指針として“問い”を自らつくり直す必要があります。大学時代の学びや出会い、学内外での経験は、この各自に固有の“問い”をつくる上で大いに役立ちます。

学問として自ら“問い”を立て自ら“問い”に挑むのが卒業研究です。人文学部ではこれを3学科とも必修とし各学科での学びの集大成として位置づけています。問いを立て・挑む過程を大切に楽しんでください。

法学部



法学部の学びは

法学部長 ^{おく}奥 ^や谷 ^{たけし}健

法学部での学びは「難しい」といわれます。たしかに難しいです。では、なぜ難しいのでしょうか。

それは、法律学を大学に入ってから初めて学ぶからです。初めてやるのが難しいのは当然ではないでしょうか。もちろん、高校までの学びを基礎としていますが、高校までに勉強していないことに大学で新たに挑戦していくことになるのです。その新たな学びは難しいですが、その挑戦が楽しいものになってくれることを私たちは期待して講義をしています。

もう1つ、難しく感じる要因があります。それは正解が1つではないということです。社会問題について正解は1つだけではありません。社会問題を解決するためにはその解決案についてより多くの人の納得を得ることが必要になります。より多くの人に納得してもらえる、正しいと思ってもらえるように自分の考えを説明し、説得することは法律学においてとても重要です。そうした力を修得できるように、私たちはゼミナール等で指導しています。

法学部の学びは「難しい」です。しかし、その中に「楽しさ」を見つけ、その学びを通して社会生活に必要な「力」を修得できるよう、しっかりと学生生活を過ごしていただきたいと思います。



経済科学部



経済科学部での学び

経済科学部長 前 田 純 一

新年度がスタートして数か月が過ぎましたが、4月に経済科学部に入学した新入生のみなさんは大学生生活のスタートを、それぞれの新しい学年に進級した在学生のみなさんは新学年のスタートを切り、がんばっていることと思います。

経済科学部では、システム科学や情報科学のいろいろな方法を従来の経済学に導入することで、経済学を1つの科学として捉えながら学修を進めています。新入生のみなさんは、そのような学修のスタイルに最初は戸惑ったかもしれませんが、カリキュラムにしたがって学修を積み重ねていけば、経済科学のイメージが自分の中に現れてくるでしょう。

現代の経済社会にはさまざまな経済現象や経済問題が生じており、それらに対処していくためには従来の方法では対応しきれない部分があるため、在学生のみなさんが学修を進めている経済科学の方法が求められることになります。

この経済科学の方法を身につけ、将来はその方法を使って経済社会に貢献できるような人材を育成していくことが、われわれ教員の責務であると考えています。そのために、より良い教育を提供することができるよう、日々努めてまいりたいと考えています。

人間環境学部



チャレンジする教育へ

人間環境学部長 川 村 邦 男

現代日本は健康・衣食住・教育・娯楽などの色々な点で歴史上最も豊かな時代にあり、それがもう50年ぐらい続いていることを、4月の学部ガイダンスで新入生に伝えました。しかし日本には、社会の縮小・環境問題などの課題が蓄積しています。またコロナ禍、世界各地での紛争、世界的物価高、SNSやAIの普及など、色々な波が次々に押し寄せてきます。このような時代だからこそ、学生たちにはしっかりと学んでほしいですし、大学教育はこれらに対応するように常に更新しております。

このように変わって行く時代には、世界に通用するようなチャレンジする教育が求められます。教育と研究は大学の両輪であり、大学教育は教員による研究を拠り所としています。高いレベルの研究成果を得るためには、大学教員は専門分野に深く集中しなければなりません。しかしチャレンジする教育を行うためには、研究活動が特定の専門分野にとどまるのでは不十分であり、教員には専門の垣根を超える大きな学問創造への挑戦が求められます。教員が新しいことに挑戦する姿を学生に示しつつ、修道大学内がチャレンジ精神であふれるように、教育と研究に努めてまいりたいと思います。

健康科学部



AI時代の教育

健康科学部長 中 西 大 輔

生成AIの進展は大学教育や知的労働のあり方を大きく変えつつあります。たとえば授業で課すレポートも、その影響により、従来通りの出題が難しくなっています。安易な課題では評価ができないという意味では、むしろ歓迎すべき変化なのかもしれません。参照不可のペーパー試験が再評価されているという話も耳にします。私が学生だった頃はワープロやパソコンの普及期で、手書き原稿を求める教員も多く、卒業論文を原稿用紙で提出する学生も少なくありませんでした。AIの使用制限も、時が過ぎれば過渡期ならではの出来事として笑い話になるのかもしれません。教育・研究の現場こそが時代を切り拓いていくべきだと私は考えています。現在では自動翻訳の精度も飛躍的に向上し、英語が苦手な学生でも英語論文に取り組めるようになりました。私の演習授業ではあらゆるツールの活用を認めており、「これまで5本しか読めなかった論文が10本読めるようになった」と学生が言う場面もあります。新しい技術は、それを使いこなす者の力を確実に高めてくれます。AIと共に生きる時代をたくましく歩めるよう、教員もまた学び続けていきます。

国際コミュニティ学部



経験を通じた成長の記録を皆様と共に

国際コミュニティ学部長 佐 渡 紀 子

後援会の行事でお会いした保証人の方から、「学部のInstagramを見ています。大学の様子が分かって嬉しいです」と声をかけていただきました。発信に力を入れてよかったと、嬉しい気持ちになりました。

国際コミュニティ学部の授業は、教員による講義だけでなく、地域で活躍する実務家や、海外から広島に来て活動している方々をゲストに迎える授業も多くあります。また、授業として、学生自身が地域や海外に出かけ、実体験を通して学ぶ機会も豊富です。こうした様子を学部の公式Instagramで紹介しています。

学生たちが自らの経験を語る記事も掲載しています。地域課題に取り組む学生、海外で学ぶ夢を実現した学生の経験談は、読んでいて誇らしく、私自身も励まされます。さらに、卒業生が登場する投稿では、学生時代の経験を振り返りながら、今の挑戦を語ってくれます。元気な様子を知ることができるのも、喜びのひとつです。

「子どもが大学のことをあまり話さなくて…」というお声もよく聞きます。学部のInstagram（Facebookもあります）を時々ご覧いただき、会話のきっかけにいただければと思います。

国際コミュニティ学部は学生たちの挑戦と成長を支えるべく、これからも努力を重ねてまいります。

広島修道大学後援会

2025年度

後援会総会・教育懇談会等

2025年5月24日(土) 10:00-15:30

後援会総会

場 所：本学3号館3101教室

出席者：後援会役員及び会員（保証人）

議 案：

1. 2024年度後援会事業報告並びに収支決算について
2. 2025年度後援会事業計画並びに予算について
3. 広島修道大学後援会会則の改正について

審議の結果、上記議案は承認されました。

大学現状説明・講演会・学部別説明会・
キャリアセンターガイダンス・
学食体験・個人面談・キャンパスツアー

〔大学現状説明〕 学長 矢野 泉

〔講演会〕

講師：芝浦工業大学教授 原田 曜平氏

演題：「Z世代」の力を引き出す親の関わり方
～「Z世代」はこう動かせ～

● 2024年度後援会事業報告

1. 後援会総会等、評議員会、理事会の開催

- (1)総会 5月25日(土)
10:00~10:40 (参加者数164名)
後援会総会終了後
【大学現状説明・講演会】
10:50~12:10 (参加者数204名)
【昼食会】 12:20~13:20 (参加者数210名)
【保証人向けガイダンス】
13:30~14:30 (参加者数136名)
【キャンパスツアー】
14:40~15:30 (参加者数110名)
- (2)評議員会 (年3回)
第1回 5月8日(水) オリエンタルホテル広島
第2回 12月4日(水) むさし土橋店
第3回 2月26日(水) リーガロイヤルホテル広島
- (3)理事会 (年3回)
第1回 4月24日(水) 広島修道大学
インターナショナルハウス
第2回 11月27日(水) Zoom 開催 (広島修道大学)
第3回 2月19日(水) Zoom 開催 (広島修道大学)

2. 学生生活に関する助成

- (1)授業やサークル活動の一環として行われる懇親会に参加する教職員への助成 (180件)
(2)サークル活動の随行に係る経費の助成 (171件)
(3)就職活動支援
(4)全国大会等出場サークルの奨励
(個人24名・団体9サークル等)

3. 卒業記念品の贈呈 (名刺入れ)

卒業生へ卒業記念品として、名刺入れを贈呈しています。広島修道大学のシンボルマーク入りのもので、卒業後の名刺交換の際には、卒業生同士の出会いに一役買っているようです。

Pick Up!

わかみや ゆう
若宮 悠

国際コミュニティ学部 国際政治学科 2025年3月卒業
就職先: 広島県信用組合

卒業に際し、お心のこもった記念品をいただきありがとうございます。社会人となり、大いに役に立っています。

私は卒業後、広島県信用組合に就職しました。現在は出納業務をしており、後に渉外係としてお客様の元へ出向き、接客をします。

今後は、学生時代の目標を叶えるために、日々精進して参ります。



4. 教育懇談会の実施

- (1)新入生保証人対象教育懇談会 (全学部)
4月2日(水) 入学式終了後
14:30~14:50 (参加者数1,558名)
- (2)全学年保証人対象教育懇談会 (全学部)
開催会場別参加者数
本学 (9/14) 112名 松山 (9/21) 4名
松江 (9/28) 12名 岡山 (10/5) 4名
山口 (10/12) 17名 福山 (10/26) 14名

全国大会出場サークル (2024年度実績)

団体

サークル名	大会名	開催月
合気道部	第61回全日本合気道演武大会	5月
卓球部	第93回全日本大学総合卓球選手権大会	7月
弓道部	第72回全日本学生弓道選手権大会	8月
空手道部	第68回全日本大学空手道選手権大会	11月
アイスホッケー部	第12回日本学生女子アイスホッケー大会	11月
FC フェルテ	アットホームチャンピオンシップ	12月
テコンドー部	第36回全日本学生テコンドー選手権大会	12月
法律研究会	第74回全日本学生法律討論会	12月
スカッシュ部	第50回全日本学生スカッシュ選手権大会	2月

個人

サークル名	大会名	開催月
軟式庭球部	第31回全日本シングルスソフトテニス選手権大会	5月
空手道部	第68回全日本学生空手道選手権	7月
水泳部	第100回日本学生選手権水泳競技大会	9月
軟式庭球部	第66回全日本ソフトテニスシングルス選手権大会	9月
バドミントン部	第75回全日本学生バドミントン選手権大会	10月
陸上競技部	第21回田島直人記念陸上競技大会	10月
卓球部	第90回全日本大学総合卓球選手権大会	10月
少林寺拳法部	第58回少林寺拳法全日本学生大会	11月
準硬式野球部	第42回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	11月
空手道部	第52回全日本空手道選手権大会	12月
スカッシュ部	第51回全日本学生スカッシュ選手権大会	12月
ダンスサークル	第10回全日本大学ストリートダンス選手権	3月

5. 広報活動

- (1)「後援会のしおり」の作成
(2)「後援会だより」の作成
(3)後援会WEBサイトの更新



4月 後援会のしおり
(年1回発行)



8月 後援会だより
(年1回発行)

6. 特別事業の実施

単年事業

- (1)冷水機をボトル給水型冷水機へ更新（3台）
- (2)鉄製ベンチテーブル再塗装（5台）
- (3)花の植栽
（P.10「これまでの特別事業紹介」参照）

7. 特別事業のための基金積立

年会費の10%相当額を事業基金として積立

● 2025年度後援会事業計画

1. 後援会総会、評議員会、理事会の開催

- (1)総会 5月24日(土) 10:00~10:30
- (2)評議員会 年3回
 - 第1回 4月30日(水) 広島ガーデンパレス
 - 第2回 12月10日(水) むさし土橋店
 - 第3回 2月25日(水) 広島ガーデンパレス
- (3)理事会 年3回
 - 第1回 4月23日(水) Zoom 開催(広島修道大学)
 - 第2回 11月26日(水) Zoom 開催(広島修道大学)
 - 第3回 2月18日(水) Zoom 開催(広島修道大学)

2. 学生生活に関する助成

- (1)授業やサークル活動の一環として行われる懇親会に参加する教職員への助成
- (2)サークル活動の随行に係る経費の助成
- (3)就職活動支援
- (4)全国大会等出場サークルの奨励
- (5)学生朝食援助

3. 卒業記念品の贈呈

4. 保証人向け後援会ガイダンス、教育・進路相談会の実施

- (1)保証人向け後援会ガイダンス
（全学部新入生保証人対象）
4月1日(火) 入学式終了後
14:40~15:00（体育館）
- (2)教育・進路相談会 本学会場及び地区会場
（日程等は、P.48「2025年度 教育・進路相談会開催のご案内」参照）

5. 広報活動

- (1)「後援会のしおり」の発行（4月）
- (2)「後援会だより」の発行（8月）
- (3)後援会 WEB サイトの更新

6. 特別事業の実施

単年事業

- (1)広島修道大学 新体育館建設事業寄附
- (2)2号館1階 学生ラウンジ
テーブル及び椅子の更新
- (3)花の植栽

7. 特別事業のための基金積立

年会費収入の10%相当額を事業基金として積立

● 2025年度後援会役員名簿（敬称略）

【後援会会員】

役員名	氏名	学年
会長	藤井 知幸	4年
副会長	原田 直実	4年・2年
	前坂 聡	4年
理事	森原 文	4年
	青木 清美	4年
	明木庵寿敏	3年
	飛谷美智明	3年
監事	池田 恭子	4年
	北川 賢一	3年
評議員	木谷 裕子	4年
	松本健太郎	4年
	中尾 尚子	3年・1年
	井川 孝枝	3年
	内堀 正明	3年
	岡本 美彦	3年
	小松 弘明	3年
	舟木 正和	3年
	阿部 恭子	3年
	岩男 道治	3年
	新井めぐみ	3年
	橘 英樹	3年
	津田 貴之	2年
	秦 英子	2年
	藤岡 崇光	2年
	伊藤 真哉	2年
	山田 正彦	2年
	島尾亜矢子	2年
	漆谷 恵美	2年

評議員	(新) 山本 亜希	2年
	(新) 香川 直美	1年
	(新) 高橋 淑恵	1年
	(新) 藤堂 宏憲	1年
	(新) 柳本さくら	1年
	(新) 高田 幸紀	1年
	(新) 宮本美智子	1年
	(新) 高橋 紀子	1年
	(新) 濱縁 法幸	1年

(新) は【後援会会員】新任評議員

【大学教職員】

役員名	氏名	役職
顧問	矢野 泉	学長
	増田 尚史	副学長
	羅 星仁	副学長
	大澤 真也	副学長
	竹井 光子	副学長
	吉田 輝美	大学事務局長
理事	森河 亮	学生センター長
	山尾 涼	教学センター長
	森岡 一憲	キャリアセンター長
	古川亜衣子	総務部長
	岡田 武士	総務課長
評議員	川瀬 正樹	商学部長
	山川 尚美	人文学部長
	奥谷 健	法学部長
	前田 純一	経済科学部長
	川村 邦男	人間環境学部長
	中西 大輔	健康科学部長
	佐渡 紀子	国際コミュニティ学部長

● 2024年度 収支決算
(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)

広島修道大学後援会 (単位：円)			
【収入の部】			
科 目	2024年度予算	2024年度決算	差 異
1. 会費収入	29,935,000	30,025,000	△ 90,000
2. 雑収入	1	0	1
3. 受取利息	250	13,302	△ 13,052
4. 預り金受入	150,000	104,468	45,532
5. 寄付金収入	0	0	0
小 計	30,085,251	30,142,770	△ 57,519
6. 前年度繰越金	10,837,928	10,837,928	0
合 計	40,923,179	40,980,698	△ 57,519

【支出の部】			
科 目	2024年度予算	2024年度決算	差 異
1. 助成費	7,500,000	6,043,550	1,456,450
①学生懇談費	1,600,000	1,040,000	560,000
②随行費	4,700,000	4,084,280	615,720
③就職援助費	400,000	369,270	30,730
④サークル援助費	800,000	550,000	250,000
2. 事業費	13,670,000	8,527,601	5,142,399
教育懇談費	6,230,000	3,344,154	2,885,846
①印刷費	330,000	440,097	△ 110,097
②通信費	1,000,000	525,181	474,819
③旅費交通費	500,000	212,930	287,070
④懇談費	4,000,000	1,916,527	2,083,473
⑤諸費	400,000	249,419	150,581
広報費	3,540,000	1,907,207	1,632,793
①後援会だより	3,350,000	1,781,807	1,568,193
②後援会のおしり	190,000	125,400	64,600
卒業記念費	3,900,000	3,276,240	623,760
3. 庶務費	6,750,000	5,953,076	796,924
①印刷費	20,000	2,310	17,690
②通信費	20,000	6,231	13,769
③慶弔費	1,300,000	1,010,325	289,675
④消耗品費	250,000	150,152	99,848
⑤会議費	1,500,000	1,248,545	251,455
⑥交通費	150,000	131,510	18,490
⑦業務委託費	0	0	0
⑧人件費	3,500,000	3,395,083	104,917
⑨諸費	10,000	8,920	1,080
4. 特別事業費	3,230,000	3,129,500	100,500
①ボトル給水型冷水機(3台)	2,310,000	2,227,500	82,500
②鉄製ベンチテーブル再塗装(5台)	200,000	187,000	13,000
③キャンパス花壇植栽整備	720,000	715,000	5,000
小 計 (1～4)	31,150,000	23,653,727	7,496,273
5. 基金積立額	2,993,500	3,002,500	△ 9,000
6. 期末未払金	0	0	0
7. 預り金支払	150,000	107,330	42,670
8. 予備費	6,629,679	0	6,629,679
9. 次年度繰越金	0	14,217,141	△ 14,217,141
合 計	40,923,179	40,980,698	△ 57,519

● 2024年度事業基金特別会計 収支決算
(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)

広島修道大学後援会 (単位：円)		
【収入の部】		
科 目	金 額	備 考
前 期 繰 越 金	22,079,646	
当 期 基 金 積 立	3,002,500	会費収入 (30,025,000円) の10% (6,005名：減免者を除く)
当期預金利息収入	375	
合 計	25,082,521	
【支出の部】		
科 目	金 額	備 考
次 年 度 繰 越 金	25,082,521	
合 計	25,082,521	

● 貸借対照表 (2025年 3月31日現在)

(単位：円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	67,366	次 年 度 繰 越 金	14,217,141
普 通 預 金	14,149,775		
通 知 預 金	0	基 金 積 立 金	25,082,521
定 期 預 金	25,082,521		
合 計	39,299,662	合 計	39,299,662

● 預金等内訳 (2025年 3月31日現在)

(単位：円)			
銀 行 名 等		金 額	備 考
1. 現金		67,366	一般会計
2. 普通預金		14,149,775	
広島銀行 安支店	0168955	13,745,432	一般会計
もみじ銀行 西風新都支店	0016053	291,507	一般会計
広島信用金庫 沼田支店	0115237	112,836	一般会計
3. 定期預金		25,082,521	
広島銀行 安支店	3081764	6,201,400	特別会計
もみじ銀行 西風新都支店	0018269	7,175,290	特別会計
広島信用金庫 沼田支店	0428602	11,705,831	特別会計
合 計		39,299,662	

(注) 差異の欄の△印は、収入の部では収入増を表し、支出の部では支出超過を表す。

広島修道大学後援会の2024年度 (2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで) における収支決算書、貸借対照表について監査を行いました結果、適正であることを確認しました。

監事 池田 恭子、北川 賢一

● 2025年度 収支予算

(2025年4月1日～2026年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位:円)

【収入の部】			
科 目	2025年度予算	2024年度予算	増 減
1. 会費収入	29,560,000	29,935,000	△ 375,000
2. 雑収入	0	1	△ 1
3. 受取利息	250	250	0
4. 預り金受入	150,000	150,000	0
小 計	29,710,250	30,085,251	△ 375,001
5. 前年度繰越金	14,217,141	10,837,928	3,379,213
合 計	43,927,391	40,923,179	3,004,212

【支出の部】			
科 目	2025年度予算	2024年度予算	増 減
1. 助成費	7,677,000	7,500,000	177,000
①学生懇談費	1,000,000	1,600,000	△ 600,000
②随行費	4,700,000	4,700,000	0
③就職援助費	400,000	400,000	0
④サークル援助費	800,000	800,000	0
⑤学生朝食援助費	777,000	0	777,000
2. 事業費	10,350,000	13,670,000	△ 3,320,000
教育懇談費	2,450,000	6,230,000	△ 3,780,000
①印刷費	450,000	330,000	120,000
②通信費	600,000	1,000,000	△ 400,000
③旅費交通費	500,000	500,000	0
④懇談費	500,000	4,000,000	△ 3,500,000
⑤諸費	400,000	400,000	0
広報費	3,670,000	3,540,000	130,000
①後援会だより	3,450,000	3,350,000	100,000
②後援会のしおり	220,000	190,000	30,000
卒業記念費	4,230,000	3,900,000	330,000
3. 庶務費	7,052,000	6,750,000	302,000
①印刷費	20,000	20,000	0
②通信費	20,000	20,000	0
③慶弔費	1,300,000	1,300,000	0
④消耗品費	150,000	250,000	△ 100,000
⑤会議費	1,500,000	1,500,000	0
⑥交通費	200,000	150,000	50,000
⑦業務委託費	0	0	0
⑧人件費	3,850,000	3,500,000	350,000
⑨諸費	12,000	10,000	2,000
4. 特別事業費	8,450,000	3,230,000	5,220,000
ボトル給水型冷水機 鉄製ベンチテーブル再塗装	0	2,510,000	△ 2,510,000
①新体育館建設事業寄附	5,000,000	0	5,000,000
②2号館1階学生ラウンジ テーブル及び椅子の更新	2,700,000	0	2,700,000
③花・球根植栽	750,000	720,000	30,000
小 計	33,529,000	31,150,000	2,379,000
5. 基金積立額	2,956,000	2,993,500	△ 37,500
6. 期末未払金	△ 2,000	0	△ 2,000
7. 預り金支払	150,000	150,000	0
8. 予備費	7,292,391	6,629,679	662,712
9. 前期末未払金支払支出	2,000	3,000	△ 1,000
10. 次年度繰越金	0	0	0
合 計	43,927,391	40,923,179	3,004,212

(注) 差異の欄の△印は、収入の部では収入増を表し、支出の部では支出超過を表す。

● 2025年度事業基金特別会計 予算

(2025年4月1日～2026年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位:円)

【収入の部】		
科 目	金 額	備 考
前 期 繰 越 金	25,082,521	
当 期 基 金 積 立	2,956,000	会費収入の10% (5,912名: 減免者を除く)
当期預金利息収入	1,000	
合 計	28,039,521	
【支出の部】		
科 目	金 額	備 考
新体育館建設事業寄附	25,000,000	
次 年 度 繰 越 金	3,039,521	
合 計	28,039,521	

これまでの特別事業紹介



食堂棟前鉄製ベンチ・テーブル再塗装
(2024年度)



学内冷水機をボトル給水型冷水機へ更新
(2024年度)



100円ランチキャンペーン
(2021～2023年度)
後援会ランチキャンペーン(2023年度)



食堂棟北側広場改修
(2022年度)



修大フォーラム棟
屋外ウッドデッキの修繕(2020年度)
屋外ステージ屋根テントの張替(2021年度)



デジタルサイネージの設置
(2011年度、2015年度、2016年度、2020年度)



修大フォーラム前ベンチの設置
(2019年度)



花の植栽

アイデア募集!!

後援会では、快適なキャンパスライフのお役に立てるような事業を考えています。
皆さまからもアイデアや要望がありましたら、ぜひお寄せください。

(後援会事務局E-mail: kouyu@js.shudo-u.ac.jp)

「Z世代」の力を引き出す 親の関わり方 ~「Z世代」はこう動かせ~



芝浦工業大学教授

講師 原田 曜平 氏

■ プロフィール

元株式会社博報堂、ブランドデザイン若者研究所リーダー。
2018年よりマーケティングアナリストとして若者・メディア研究や
広告開発に従事。
2022年4月から芝浦工業大学教授。
流行語「さとり世代」「マイルドヤンキー」「Z世代」などの提唱者で、
『伊達マスク』の言葉の生みの親。
『ZIP!』『ホンマでっか!?TV』などメディア出演も多数。



本日は足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。原田と申します。私の経歴について簡単にお話ししますと、もともと広告会社におりまして、そこから若者研究というものを始め、今は大学で教員をしながら引き続き若者の研究をしています。ずっと若い人たちと付き合ってきた感じですね。今日は、皆さんのお子さんにあたる、いわゆる『Z世代』と呼ばれている若者たちが、一体どういう世代なのかということについてお話しさせていただきます。

世代論とは何か：時代背景で読み解く若者像

まず「世代論」って感覚的なものなんです。近い世代って、同じような時代の風景を見てきてるわけですよね。例えば、同じ芸人さんを見て育ったとか、同じ音楽を聴いてきたとか、同じ映画を観てきたとか。なんとなく似たような価値観を共有している傾向がある。世代の分け方や呼び方も人によってちょっとずつ違うので、あくまで大雑把なものだっというふうに理解しておいてください。今よく『Z世代』って言われる若者たちは、高校生とか大学生、それから若手社会人くらいの人たちです。この『Z世代』の話に入る前に、その前の世代のこともざっとお話しておきたいと思います。

まず、日本人を世代論よりももっと大雑把に分けると、大体3つのグループに分けられるんです。

一番上にあるのが『キネマ世代』。これは、いわゆる戦前生まれの方で、タモリさんの世代ですね。映画の黄金時代の記憶がある人たちです。テレビが出てくる前の世代なので、映画が大スターの舞台だったんですね。第1グループがこの『キネマ世代』までを含む『戦争を経験した世代』。戦争を実際に体験された方もいれば、戦後すぐに生まれた方もいて、それぞれ違いはあるんですが、共通しているのは、「戦争の原体験がある」ということ。そして、戦後に家電製品、たとえばカラーテレビとか冷蔵庫が家に来た時に「すごく幸せ！」って思えるような価値観を持ってる。

それから第2グループ。ここが日本の高度経済成長期を生きた世代ですね。まず『団塊世代』、これが一番人口の多い世代で、戦後のベビーブームで生まれた人たち。ビートたけしさんとか上沼恵美子さんとかがこの世代です。この人たちは日本の介護や福祉の問題にも直結してくる世代ですね。

その次が『しらけ世代』。明石家さんまさんとかサザンオールスターズの桑田さんがこの世代で、上の世代が学生運動とかやってるのをちょっと冷めた目で見て、「俺たちはもっと面白いことしようぜ」という価値観を持っていた。

だから政治的な話はあまりしないし、テレビでもそういうの避けるんですよ。

その下が『新人類世代』。ダウタウンとかウッチャンナンチャンとか、とんねるずとかが出てきた世代です。それまでのルールを壊して、自由な発想でどんどん表に出てきた。パワーがあって、反骨精神もある、そんな人たちですね。

そして『バブル世代』。これは就職時期がバブル景気と重なった世代で、比較的景気のいい時代に若い時期を過ごした人たち。有名人でいうとネプチューンとかロンドンブーツ1号2号とかですね。

これらの人たちが含まれる第2グループっていうのは、簡単に言うと「頑張れば経済が上がる」という感覚を原体験として持ってる世代です。右肩上がりの時代を生きてきたので、「頑張ろうぜ！」って言われると、ずっと胸に落ちるんですよ。



でも、その下に来る第3グループは違います。例えば『団塊ジュニア世代』、『就職氷河期世代』、『ロスジェネレーション世代』なんて呼ばれる人たちですね。ちょうど山一證券が潰れたりして、就職がすごく厳しかった時代。だから彼らは「頑張っても報われない」という思いがどこかにある。

その次が『ゆとり世代』。よく揶揄されがちなんですけど、実際は第2次就職氷河期、リーマンショック直撃世代でもあるんですよ。だから、ものすごく辛い時代を生きた世代だと思っています。ある意味、戦後で一番不幸な世代じゃないかと、私は思っています。

Z世代の誕生：情報の同時代性と均質化

そして、『Z世代』がその下の世代ですね。ゆとりの次です。なんでZと呼ばれてるかっていうと、これはアメリカの世代論からきていて、X世代、Y世代ときて、次がZ世代。私が2020年に出版した本のタイトルを考えるときに悩んだ末、結局このアメリカの呼び方をそのまま使うことにしたんです。

私自身、ずっとアジアや海外で若者の調査をしているんですが、最近ではどこの国に行っても、あまり差がなくなってきたんですね。今の若者たちって、世界中どこにいても、みんなスマホ持ってTikTok見たり、Netflix見たりしてるわけです。昨日も広島修道大学の学生さんにインタビューさせてもらったんですけど、東京とここの違いって、正直ほとんどない。土地土地の「発見」ってものが、どんどん減ってきているんですね。結局は似たようなものを世界中の若者が見てるわけですよ。だから、もう『Z世代』って世界共通で呼んだほうがいいんじゃないかって、広告代理店の発想で勝手にラベリングしちゃったわけなんです。

Z世代を形づくる2つの時代背景とそれに伴い変化する価値観

それでは、『Z世代』と保証人の皆さんが若かった時代との大きな違いを2つお話ししたいと思います。

一つ目が、超・人手不足の時代に生きてること。日本は50年近く少子化が続いてきて、ゆとり世代の頃には少子高齢化って言葉が騒がれ始めてたんですけど、今や人手不足って言葉の方が主流になっている。若者目線言えば、初任給も上がってきているし、就職も転職もしやすい。そんな環境だから、「頑張らなくても食っていける」時代に生きてるわけです。

それがどう現れるかっていうと、“チル”っていうキーワードになるんです。マイペースでまったり過ごす。もともとアメリカのラッパーが使っていたスラングなんですけど、日本でも今は普通に「チルしてる」とか言う。これ、単なる流行語じゃなくて、ちゃんと消費行動にも出てくる。例えば、リラクゼーションドリンクってご存知ですか？昭和の時代はリポビタンDで徹夜してた。平成になるとエナジードリンクのレッドブルとかが流行った。でも今は逆に、チルアウトっていう飲み物とか、ヤグルト1000とか、リラックスや睡眠の質を上げる方に関心が向いている。これって、上へ上へと目指してた世代と、今のちょうどいい感じでいたいっていう世代との価値観の違いですよ。

そして二つ目が、スマホネイティブであること。『Z世代』は最初からスマホしか知らない。ガラケー世代の上の世代と違って、スマホ＝パソコンを常に持ち歩いているようなもんなんです。スマホで何してるかっていうと、当然SNSですよ。YouTubeは若者だけのものじゃなくなってきていて、中高年の方もかなり見ている。でも、TikTokになると違う。ここが世代のギャップになってくる。TikTokでバズったものが、テレビにまで影響を与えて、トレンドが広がっていく。今はもうテレビがトレンドを作ってるわけじゃないんです。

『Z世代』の行動や価値観っていうのは、こういう時代背景にちゃんと根っこがあるんだってことを、ぜひ理解していただければと思います。彼らがやる気がないとか覇気がないように見えるのは、実は彼らなりの合理性があるんですよ。最後に言いたいのは、こういう価値観を批判するのではなく、どう共存するか、どう理解し合えるかという視点を持つことが大事なんじゃないかなと思っています。

多様化するZ世代：7つのクラスター（タイプ）で見る若者像

『Z世代』について、少し解像度を上げた形でお話ししていきたいと思います。よく『Z世代』は“チル&ミー”の世代なんて言われたりしますが、それはあくまで平均的な傾向であって、実際にはもっと細かく分けることができるんです。その中でも代表的な7つのクラスターをご紹介します。

まずはクラスター1、「無気力・無感度・無勾配男子」からです。このタイプはですね、要するに「なんかもう面倒くさい」、「だるい」みたいな気分で生きている感じの子たちです。気力もあまりないし、感度も高くない。SNSもやってなかったり、やっても熱心じゃなかったりする。だから『Z世代』＝“チル&ミー”っていうくくりには実はあまり当てはまらないんです。むしろ“チル”だけが肥大化していて、“ミー”はほとんどないタイプ。消費欲も少なく、いい車買いたいとか、そういう欲もあんまりない。仕事終わったらさっさと帰って、実家でぼーっとしてるのが好き、みたいな。こういう“チル”特化型の若者が今、すごく増えています。

次にクラスター2、「ミーハーインスタ女子」。このタイプはとにかくトレンドに敏感で、おしゃれなカフェやスポットをSNSで調べたりして、すぐに足を運ぶような子たちです。インスタとTikTokをフル活用していて、映える写真を撮って「いいね」をもらうことにとっても価値を置いている。なので、“チル”要素は少なく、“ミー”が強いタイプですね。いわゆる自己承認欲求が強く、「私を見て！」って気持ちが強い。企業で言えば商品開発やPRに向いているタイプかもしれませんね。エネルギーもあるし、情報感度も高い。

クラスター3は「意識高い系・多趣味男子」。この子たちはですね、チルでもミーでもない、ある意味昔ながらの右肩上がりりの価値観を持ってるタイプです。政治や経済ニュースに興味があって、出世したい、お金稼ぎたい、ブランド品欲しい、みたいな。「チル」なんかしてられない、やるときゃやるタイプです。だから、インスタで「いいね」もらう“ミー”ではなくて、上司や社会に認められたい、という“ミー”ですね。今どきの“ミー”とはベクトルが違うんですよ。こういう子たちは少数派ですが、いつの時代にも一定数います。

次がクラスター4、「ズボラ発信系男子」。この子たちは、基本的にはルーズな生活をしているんですが、自分の発信だけには熱心なんです。YouTubeとかX(旧Twitter)で、裏アカウント使って自分の意見や愚痴を発信する。でも他人の投稿はあまり見ないし、広告にも反応しない。情報を受け取るよりも、自分の言いたいことを言いたいタイプですね。この子たちも一種の“ミー”系ではあるんですが、インスタ女子とは違った方向で自己承認欲求が強いタイプですね。

クラスター5は「推し活・節約女子」。最近は推し活って言葉もよく聞くようになりましたよね。昔のオタクとはちょっと違って、今の子たちはもっとライトにいろんなものを“推す”んです。だから、前まで別のアイドル推してたのに、急に違う人になっちゃったりもするし、浅く広く楽しむ感じ。ネットの情報でパッと詳しくなれる時代なので、誰でもちょっとしたオタクになれる。学業よりも推し、仕事よりも推しが優先。そんな子たちです。

クラスター6、「安さ・節約重視の個人主義」。これはもう典型的な引きこもり系です。一日中部屋でアニメ見て、ゲームして、課金はしない。基本的には情報を受け取るだけで、発信しない。積極的に何かを調べたりもしないし、とにかく安く、静かに、自分の世界で過ごしたい。こういうタイプも最近多いですね。やっぱり“チル”特化型。

最後がクラスター7、「自分を持った真面目男子」。この子たちはですね、SNSもちゃんと使うし、情報もちゃんと取りに行くんだけど、決して流されない。流行ってるからってすぐに飛びつくわけじゃなくて、自分の価値基準で物事を判断できる。いわゆる自分軸があるタイプです。企業からすれば非常に魅力的な人材だと思います。これまで紹介したクラスター3の意識高い系男子とはまた違って、もっと冷静でバランスの取れたタイプですね。ある意味、普遍的な優秀さを持った若者像かもしれません。

というわけで、『Z世代』を“チル&ミー”でひとくくりにするのは簡単なんですけど、こうしてもう少し因数分解してみると、解像度が上がって理解しやすくなります。ぜひ、皆様のお子さんや部下を見るときに、「あ、なんとなくこのタイプかもな」と照らし合わせて使っていただければと思います。

Z世代を理解し、動かすために

そろそろ今日のお話のまとめに入らせていただきたいと思います。まず、さっき日本人を3タイプに分けたと思うんですが、もし皆さんがその2グループ目に該当するならば、いわゆる『Z世代』の人たちがどういう感覚を持っているか、そこを理解することが大切になります。つまり、「もっと稼げ」「頑張れ」「それが楽しいだろ」と言っても、そもそも生きてきた時代や背景が違うんで通じないわけです。

そう考えると、やっぱり“チル”なんです。今の若者は全体的にチル型が多くて、それを「うちの子はやる気がない」と決めつけず、そういう時代なんだと捉え直すべきなんです。そのうえで、どうモチベートするか。まずは“チル”型としっかり向き合うことが第一のポイントです。

次に、自意識、つまり“ミー”というものを理解する必要があります。今の時代は怒鳴ったり叱ったり、体罰なんでもってのほかです。例えば私の知人であるヤクルトの元投手・川崎憲次郎さんのような時代背景では、野村監督のような厳しい指導が通用していた。でも今は違います。今の指導者で言えば、青山学院の原監督のように、叱らない方針で学生と信頼関係を築くスタイルが求められます。

原監督は選手と放課後の中学生のような距離感で接しながら、必要なところではきちんと指導されている。そんな形が今の若者に合っているんだと思います。

最後に、やはりSNSです。今の若者はスマホを中心とした情報に日常的に接しています。親世代としても、それを理解して、「何を見ているか」「どんな影響を受けているか」を知る努力が必要です。フェイクニュースや大麻などの問題もある中で、大人がSNSに無関心では、子どもたちの危険を見逃してしまうかもしれません。

この3つを踏まえて、ぜひ皆様のお子さんや若い世代に寄り添っていただきたいと思います。本日はご清聴ありがとうございました。



2025年度 総会・教育懇談会等アンケート集計結果 (記述式)

※一部抜粋

後援会総会についての意見・要望

- ・大変スムーズな議案審議でした。時間も適当だったと思います。
- ・予算は、学校全体を把握することにつながるので、予算内容をお知らせしてもらい、安堵した。
- ・後援会の事業内容を知れて、良かったです。
- ・資料がきちんと作られており、説明もまとまりがあってよく分かりました。

大学現状説明についての意見・要望

- ・しゅうまるは、ネーミングも可愛くて、良いですね。体育館は、外から拝見しましたが、立派でびっくりしました。有効活用しないと勿体ないですね。子供の数が減っていくなかで、どこの大学も大変なようですが、魅力ある、入学してよかったと感じる大学作りをお願いします。
- ・大学の現状、今取り組んでいること、これからどう進んでいくのか分かり易い説明でした。今後とも地域密着型の大学として地域への貢献を期待します。
- ・改めて大学の現状と地域貢献を知ることのできる有意義な機会でした。
- ・学長から分かりやすく説明を受けるなかで、広島県における大学の課題を美化することなく重点的に向き合って社会問題として取り上げていたことは評価したい。
- ・修道大学の使命についてもお聞きして、どのような教育を目指しているのか分かりました。
- ・少子化に伴う、これからの広島修道大学の目標について、質の高い教育を目指すということを話されていました。子供の母校がずっとなくならずに、広島を代表する大学であり続けてくれることを願っています。

講演会についての意見・要望

- ・純粹に有名な先生の講演会なので楽しみに聞くことができました。Z世代に接する対応として、子供に対してと会社で新入社員に対しても参考になりました。
- ・知識が増えて楽しかったです。Z世代は叱らず褒めて、アドバイスする世代のようで、何とも羨ましい限りの世代です (笑)。自分達の頃とは違うというのは、薄々分かってはいましたが、お話下さり、確信に変わりとても勉強になりました。
- ・今どきの若者のことを分かりやすくお話して下さり、考えさせられました。これからの子どもとの関わり方の参考になりました。
- ・1番知りたい話なのでとても参考になりました。
- ・とても面白くて分かりやすかったです。会場の一体感も感じましたし、さすがお上手だと思いました。
- ・毎年楽しみにしています。親世代の勉強になるテーマをいつも考えて選考されてると思います。毎回、興味深い大変貴重な時間を過ごさせてもらっています。
- ・我が子世代であるZ世代について理解を深めることができました。子どもとの接し方をちょっと変えてみることでより良い関係を築くことができるのではないかと思います。とても参考になりました。
- ・原田先生のお話、とてもわかりやすく楽しかったです。我が子への対応も考えながら、寄り添いながらしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・有名人の講演会はやはりおもしろく聞き応えがあります。次回の人選も期待しています。
- ・Z世代の人の間で流行していることを知ることができて楽しかったです。帰宅後、子供に話をして盛り上がりました。
- ・子どもたちの世代について、普段から漠然と感じていたことが、明解に繋がったように思いました。とても分かりやすく、貴重なお話しが聞けて良かったです。ぜひ著書も読んでみたいと思います。ありがとうございました。

学食体験についての意見・要望

- ・学食を試食出来て良かったです。味もちょうど良く、美味しかったです！
- ・誰もが好む味付けで大変おいしくいただきました。学食は清潔感もありました。
- ・学食体験は楽しいです。学食は、うまい、やすい、健康に良いという思い出を学生たちに残して欲しいです。また学友たちのコミュニケーションの場として活躍して欲しいです。
- ・娘からいろいろと話に聞いているので、毎回楽しみにしています。チキン南蛮は娘が一番好きと言っており、私も美味しく頂きました。そしてやはり、お味噌汁。お出汁がとても美味しいです。田舎を思い出すお味でした。いつも学生の為にありがとうございます。
- ・学食を食べる機会はないのでとても良い企画だと思います。子どもの毎日の食事が清潔な施設で安全に美味しく提供されていることが分かり安心しました。貴重な体験をありがとうございました。
- ・とても美味しかったですし、案内役の方々がとても親切で、ありがたかったです。
- ・とても栄養バランスもよく、美味しかったです。デザートもついていて、準備して下さった方々のお心遣いがとても嬉しかったです。

学部別説明会についての意見・要望

- ・動画とスライドを用いて分かりやすく説明していただけて安心しました。
- ・学部説明はとても良かったです。学部の特徴だけでなく学科の特徴も理解できました。進路情報もそれぞれ特色があることが理解できました。学部説明は今後も継続して欲しいと思います。
- ・履修科目など、どのような学問なのかを説明して頂き、とても分かりやすかったです。
- ・同じ学部他学科の事についても知ることができ、学部の教育目的と特性が分かりました。
- ・学科の先生からのコメントもあり、参考になった。時間もちょうどよかった。いろいろ恵まれた環境だが、学生が上手に使いこなしているのかと思った。

キャリアセンターによるオンデマンド説明についての意見・要望

- ・職員さんの人柄が良いのが伝わってきて、良かったです。こちらの大学は就職のための講義??みたいなのもちょくちょくしてるみたいだし、面接の練習や書類の添削などいつでもお願いしてもよいとおっしゃって下さり、心強いと思いました。
- ・就職活動をイメージできて、良かったです。
- ・進路状況についてや、いろいろなガイダンス、セミナーが実施されている事が分かりました。これから、子どもにどんどん活用して欲しいと思います。
- ・データを用いてとても分かりやすかったです。できたら、具体的な事例なども紹介していただけると良かったです。
- ・手厚いと感じたが、学生たちがしっかり活用できればよいと思った。

個人面談についての意見・要望

- ・成績表を用いて今後について具体的に聞くことが出来たので、本当に良かったです。家では学校での状況や就職活動に向けての動きがわからないので、正確なところが聞けて良かったです。
- ・ご丁寧に応じたような機会を作ってください、ありがとうございます。きめ細かいご対応を心より感謝申し上げます。

キャンパスツアーについての意見・要望

- ・雨の中、一生懸命説明をしていただきました。普段目にすることもない場所も見れて楽しかったです。ありがとうございます。
- ・雨の中大変だと思っていましたが、ずっと傘の要らない軒先を順序よく案内していただき色々な施設を見学することができました。親切丁寧な案内に感謝いたします。
- ・室内で回るコースに変わりましたが、学生さんがここは??と思う事を丁寧に説明してくださいました。図書館については、映画視聴や部屋を借りたりと子どもも知らないことがありそうなので、教えてみようと思います。聞きたいことをここで聞けたので良かったです。
- ・校内の充実した各部屋を見せてもらいとても感動しました。図書館の本の多さや設備の良さにも驚きました。子供には有意義な学生生活を送って欲しいと思います。一年生の女の子が緊張しながらツアコンをしてくださいました。初々しくて良かったです。ありがとうございました。

本日の後援会総会・教育懇談会等についての意見や感想

- ・大学に入ってから高校までのように学業状況を先生とお話しさせて頂く場がなかったので、今回とても参考になると共にこれからどう動かないといけないのかがわかり大変参考となりました。ありがとうございました。
- ・自分ではなく、子供の通うことではありますが、校内をまわったり、学食をいただけたり、お話を聞けたりで、とても充実した、楽しい時を過ごせて嬉しく思いました。そして、まだよく分かっていなかった大学のことを知れて、安心した気持ちにもなりました。
- ・後援会会費が学生のためにどのように使われているのかがよくわかりました。また、普段は体験できない学食体験やキャンパスツアーは子どもがどのように大学生活をしているのかを知ることでできる貴重な体験でした。毎年開催して欲しいと思いました。
- ・先生方もお手伝いされている学生さん達もとても感じが良くて、良い大学に通わせて頂けているなと思いました。
- ・キャンパス内の様子を見ることができて良かった。教室やトイレ、食堂が清潔で、子どもがこのような環境で過ごせていて良かったと思いました。
- ・大学の様子や学部の方針など、こどもの話しやパンフレットからだけでは伝わりきらない内容やお話しが直接聞けてとても良かったです。
- ・スムーズに流れるように、よく考えられていると思った。ボールペンなどもちゃんとしたものが入っており、無駄なく使えるものだと感じた。恵まれた環境の中で、どの学生も充実した大学生活を送ってほしいと思った。

学生への支援として、今後してほしいこと

- ・依然物価高が続いています。学生朝食援助活動を、予算内で拡大できれば、お願いしたいと思います。
- ・キャリアセンターで色々企画していただけると知って有り難いです。今後、、、これを充実させていただけたらと思います。
- ・夏の暑さ対策などあったらありがたいです。

保証人向けに、今後してほしい企画は

- ・著名人の講演もとても有意義ですが、例えば、就職して3～5年の卒業生の今の声を聞けるような場があっても良いかなと思いました。
- ・体育館が出来たら、見学したいです。何かセレモニーを予定されているのかもしれませんが、OBの方などお招きして、お祝いできたらいいなと思います。
- ・著名人の講演会は今後もしてほしいです。
- ・後援会の活動内容は勿論、学校生活のことなど、色々情報を発信して頂けると嬉しいです。
- ・学生によるパフォーマンス、演奏会 コーラス、吹奏楽など

特集2

新体育館、完成間近!!

後援会では9月に竣工を迎える学校法人修道学園 創始300周年記念
広島修道大学 新体育館建設事業に対し、2025年度特別事業として
寄附を行います。今後長い期間にわたり広島修道大学の新たな
ランドマークとして、また現在から未来の学生たちの
学びと交流の場として、新体育館が多目的に
活用されることを期待しています。



完成予想図(外観パース図)

完成までの道のり



施工前



2023年11月



2024年4月



2024年9月 屋根施工



2024年12月 北面ガラス取付



2025年1月 屋根完成



2025年2月 メインアリーナ



2025年6月 大階段



2025年6月 北側広場

新体育館、まもなく完成!!

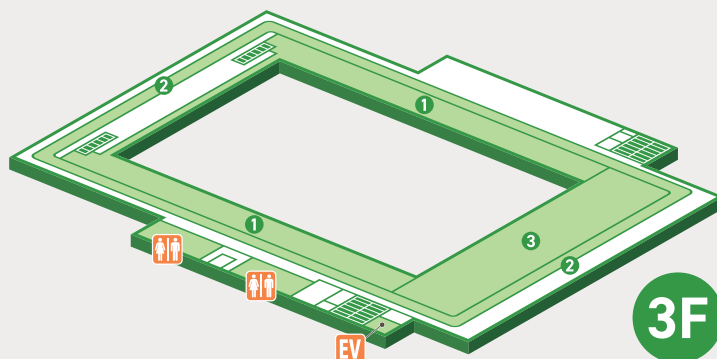


2025年6月撮影

新体育館 設備案内

3F

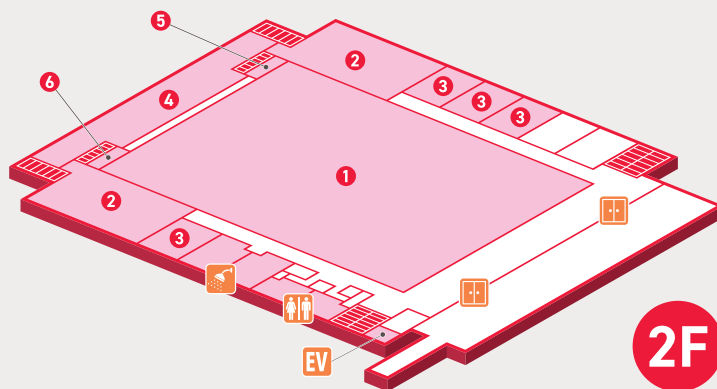
- ① 観客席
- ② ランニングコース
- ③ 卓球場



3F

2F

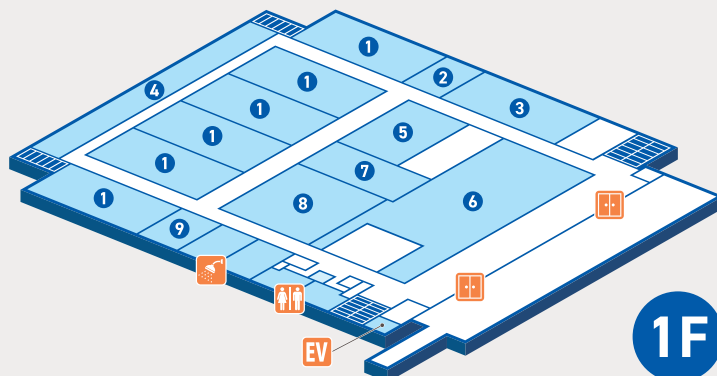
- ① メインアリーナ★
- ② ウォームアップエリア
- ③ ミーティングルーム
- ④ 器具スペース
- ⑤ 放送室
- ⑥ 倉庫



2F

1F

- ① サブアリーナ
- ② リフレッシュエリア
- ③ オープンラウンジ
- ④ 器具スペース
- ⑤ スカッシュコート★
- ⑥ トレーニングルーム
- ⑦ ボルダリングエリア★
- ⑧ 柔道場
- ⑨ 測定室



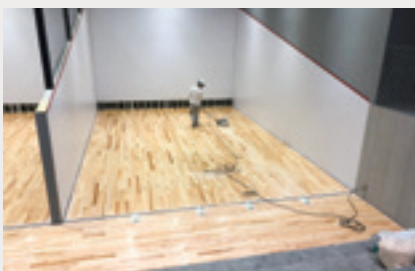
1F

全フロア共通 入口 WC EV エレベーター シャワー室 階段

内部の様子



★2F-① メインアリーナ 2025年6月



★1F-⑤ スカッシュコート 2025年5月



★1F-⑦ ボルダリングエリア 2025年4月

引き続き寄附を募集しています。

広島修道大学では、2026年3月31日まで、引き続き新体育館建設事業への寄附金募集を行っております。広島修道大学の更なる発展にける思いをご理解いただき、新体育館建設事業寄附金募集に格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、同封の趣意書にて事業の趣旨及び寄附の方法等を詳しくご案内しておりますので、何卒ご一読のうえ、趣旨にご賛同いただき、ご寄附を賜りますようお願い申し上げます。

新体育館建設事業寄附金
お申込みはこちら



支えに感謝を込めて —スカッシュ部での挑戦と成長

スカッシュ部 経済科学部 経済情報学科 4年 ^{いずみ} 泉 ^{あつき} 篤希



右側が泉さん



私の所属する広島修道大学スカッシュ部は、約50名で活動しており、部活・遊び・勉強全てに全力で取り組んでいます。部活動では、それぞれが高い目標を持ち、学外の施設で週2回・各2時間の全体練習に加えて、それぞれが自主練習をおこなっています。

私がスカッシュを始めたきっかけは、広島修道大学に入学した際に新しいことに挑戦したいと思ったからです。その中でも、日本ではまだマイナースポーツであるスカッシュに惹かれて入部を決意しました。入部した当初は、未経験のスポーツだったこともあり、技術や経験が不足していましたが、日々の練習や試合を重ねていくうちに、成長を感じられてスカッシュに、はまっていきました。また、広島修道大学はOBやOGとの繋がりが強く、普段の練習や夏合宿などのイベントの際にOB・OGの方に指導していただく機会もあり、スカッシュが上達する環境が整っています。その結果、3年連続インカレに出場し、部内では団体戦の1番手を務めるまでに成長することができました。

私がこのようにスカッシュに熱中することができたのも、日頃より後援会の皆様からのご支援があったからこそです。特にスカッシュは専用のコートが必要不可欠であり、これまで学外の施設で練習をしてきました。このたび新体育館にスカッシュコートが設置されることで、より良い練習環境で競技に取り組めることに、深く感謝しております。

私が新体育館で練習できるのは、半年と短い期間ですが、大学を卒業するまで個人でも部活全体でも、成長していける様に最後までやりきろうと思います。引き続き、応援の程よろしく願いいたします。

資格取得でつかんだ自信と成長 ～宅建への挑戦を通じて～

経済科学部 現代経済学科 4年 よしだ しょうたろう 吉田 昭太郎



私は大学在学中に「宅地建物取引士（宅建）」の資格を取得しました。この資格に挑戦した理由は、「大学生のうちに、社会で必要な知識を少しでも獲得したい」と考えたからです。宅建試験では、土地や住宅など私たちに身近な不動産について幅広く学びます。社会人になって、不動産の購入や住宅ローンを組むときに宅建試験で得られる知識は必ず役に立つと考えました。

勉強を進めるうえで困難だったことは、法律の難しさです。私の専攻は経済学であり、法律については学んだことがありませんでした。宅建試験では、宅建業法や民法、建築基準法など不動産に関するあらゆる法律を学びます。問題を解くためには、ただ法律の内容を覚えるだけでなく、なぜその法律があるのか、また判例ではどのように解釈されているのかを理解する必要があります。そのため、法律の知識がない状態で宅建試験に合格するには、多くの勉強量が必要です。しかしそれだけではなく、多くの勉強を確実に自身の知識に繋げるための質も重要です。そこで、授業が終わっても図書館に行き、毎日閉館時間まで勉強することで勉強量を確保しました。また、インプットをする際に、どのような形式で問題に出るかなど、常にアウトプットを意識して勉強することで質も上げることができました。3か月という短い期間でしたが、常に量と質を意識して勉強した結果、無事に宅建試験に合格することが出来ました。

この資格取得を通じて得られたのは、不動産に関する知識だけではなく、勉強に対する意識の重要性や目標に向かって努力する姿勢、自身の興味・関心に正直に答える行動力も身についたと感じています。また、金融系や住宅、不動産系の企業の就職活動でも注目して頂けることが多くありました。資格取得は人生を動かすチャンスの一つです。ぜひ、多くの人に資格取得に挑戦して欲しいと思います。

ゼミ活動、 実習科目紹介

商学部合同ゼミ、 広がる学びのフィールド ～マツダに学ぶCSRとマーケティング～

商学部商学科

徐ゼミ マーケティング、マーケティング戦略、
サービス・マーケティング

厳ゼミ マーケティング、マーケティング・リサーチ
商学部経営学科

世良ゼミ 企業の社会的責任(CSR)、企業論



マツダミュージアムのロビーにて、全員で記念撮影

「原爆投下後の広島で、マツダは三輪トラックを提供し、それが広島の復興や成長の足掛かりとなったのだ…」マツダの歴史と、現在ゼミで学んでいる企業の社会的責任(CSR)が、深く結びついていることに気づいた。
(経営学科 世良ゼミ 2023年度生)

今までメーカーがどのような思いで車を開発し、どのような工程を経て消費者の元に届いているのかを知らなかった。お客様に楽しんで乗ってもらえるよう、人の筋肉の使い方まで研究するマツダのこだわりを知り、マーケティングの視点から、もっとマツダのことを知りたくなった。(商学科 厳ゼミ 2023年度生)

これは、2024年12月7日に、合同ゼミナール(以下、ゼミ)で自動車メーカーマツダ株式会社(広島県安芸郡府中町。以下、マツダ)の展示施設「マツダミュージアム」を見学した学生のレポートの一部です。

本学の商学部には、経営学科と商学科の2学科が揃っており、企業経営の視点から商取引の視点まで、ビジネスについて幅広い学びを展開しています。今回は、企業の社会的責任等について学ぶ世良ゼミ、マーケティングや商品開発について学ぶ徐ゼミ・厳ゼミと、普段は少し異なる視点から学んでいる両学科の合同で、広島を代表するグローバル企業マツダを見学しました。

当日はマツダ本社に集合し、専用バスでミュージアムへ。普段立ち入ることのできない構内と、そこから広がる広島湾の雄大な景色に、目を奪われます。到着後、まず館内ガイドツアーに参加。館長自らご案内くださり、100年以上もの間ひたむきにモノづくりに取り組んできたマツダの歴史展示や技術を興味深く見学しました。さらに、マツダの誇るスポーツカー ロードスターについて、エンジニア 井上政雄氏のレクチャー『『走る歓び』のレシピ』を聴講しました。

小学生時代に見学した学生も、あらためて大学で学んでいる理論や知識をベースに、地域社会やビジネスの現場から実践的な学びを得て、他学科のゼミ生とも触れあえる新鮮な体験となりました。



マツダミュージアムの助光館長様(写真中央)自ら、広島とマツダの歴史を熱く語って下さった

国境を越えた学び、 セブ島での貧困救済 プロジェクト

人文学部総合科目
「インターンシップ（～2023年度生）」
「海外体験演習（2024年度生～）」
担当教員：石塚浩之 人文学部教授



人文学部には、フィリピン・セブ島での海外実習科目があります（23年度までの入学生は「インターンシップ」。24年度入学生からは「海外体験演習」）。広島修道大学には、多彩な留学プログラムがありますが、その多くは英語をはじめとする外国語学習を主な内容としたもので、派遣先は現地の大学です。セブ島実習の目的は外国語学習ではありません。学生は現地で外国語を使いつつ行動することを通じ、国際的視点から社会問題を学びます。派遣先は大学ではなく、セブ島を拠点に活動する国際ボランティア団体 DAREDEMO HERO です。

国際的なリゾート地として知られるセブ島ですが、観光客としての視点を離れ、その社会的現実を目を向けると、他の東南アジア諸国同様、深刻な貧困問題が見えてきます。派遣先 DAREDEMO HERO は「教育を通じた貧困問題の根本的解決」をテーマに、教育支援・地域支援・文化交流の3つの柱で活動し、フィリピンの次世代リーダーの育成を目指しています。

2020年、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によりセブ島実習は中止になりました。コロナ禍でセブ島の貧困層の人々の生活が深刻な影響を受ける中、DAREDEMO HERO と本学は国際支援活動を継続する方法を探りました。その成果が、DAREDEMO HERO、英語英文学科通訳コース、健康栄養学科栢下ゼミの三者合同で進めるセブ島栄養改善プロジェクトです。

2024年度、5年ぶりに現地派遣を再開しました。実習生たちは、語学留学や観光旅行では、決して訪れることのできない場所を訪れ、異国の現実に触れました。墓地で生活する人々の現状を目の当たりにし、ゴミ山で暮らす人々の生活を視察しました。山岳地帯では急な斜面での過酷な農作業を体験し、都市部では、劣悪な住環境の現状を知りました。2024年度の実習生は、現地活動の一部として、現地の貧困層出身の若者の書作品制作を支援し、広島に持ち帰った作品で書作品展を開催しました。

2025年度の実習は8月から9月の予定で準備を進めています。今年は9名の学生がセブ島に飛び立ちます。



笑顔と感謝のつながり

後援会副会長 はらだ なおみ 原田 直実

原稿の依頼を受けて、さて何を書こうかと考えた時に初めて気づきましたが、大学に通う息子2人は「今日も楽しかった」と言って帰宅してきますが、親としては何をしているのだろうか。子供が生まれて小さな時は、休みになるといつも自然に触れる山や川などに遊びに連れて行ったりしていましたが、中学生になると不思議と自立心が芽生え、また部活も始めたことから一緒に出かける時は外食の時だけというふうに変化しました。それが自然なことだと分かっている、やはり子育てをする親も初めての経験なのでどうすれば良いのか考えた時もありましたが、笑顔で挨拶だけはするように夫婦で心掛けていました。それが大学に入学することで、行かなければいけない学校から行きたい大学に変化したように感じます。アルバイトも経験するようになり、お金を稼ぐことの大変さも感じながら毎日のゲームも欠かさず楽しんでます。来年卒業する長男からは、仕事についての話もするようになり、逆にヒントをもらったりすることもあります。自分の人生は自分でつくるものであり、人のご縁に感謝をしながら自分を信じて社会へ巣立って欲しいと思います。

就活と向き合う私を支えた家族

経済科学部 現代経済学科 4年 はらだ いちろう 原田 伊知郎

私は人と会話をすることが好きで、家族といるときは学校やアルバイトなどの話題を話しています。会話をする度に親は明るく反応し会話を弾ませてくれます。大学四年生になってから就活を行いましたが、軸が曖昧になり不安や悩みを抱えることが増えてきました。その時に親は「何が気になったのか、入社した後になにをしたいのか」など就活をする上で大事なことを培った経験を通して話してくれました。いつでも話を聞き、私のことを理解し支えてくれる家族には感謝しきれないです。これからも会話を増やしていき、家族との時間を大切にしたいと思います。

家族との食卓が教えてくれたこと

健康科学部 健康栄養学科 2年 はらだ ゆうたろう 原田 悠太郎

私の家は4人家族で、食事の場で積極的に話し続けることや今日も健康で幸せに生きられたことに感謝をすることが多いです。私自身は喋り続けることは苦手ですが、家族が話を振ってくれたりするので話し続けることができます。最初は話し続けることは面倒だと思い込んでいましたが、話し続けるうちに自らの視点が少しずつ変化していき、今ではそんな風に話し続けることが自分にとっての日常で大切だと思っています。食事の場で家族と一緒に話し続けようと父が提案したのは、家族の絆を深めようとしていることやいざれ遠い場所に旅立ってしまったときに後悔が生まれないようにしているのだと考えています。これからも家族と穏やかに暮らせる日々が続くことを願っています。



娘の大学生活を見守って

後援会評議員 あら い 新井 めぐみ

何度も話をし、最終的に娘が修道大学に進学を決めた理由は、やりたいことが全部できる大学だからという理由でした。実際に入学して、地域創生についての勉強、車の免許を取る、バイト、サークルに入って会計学を勉強、プロジェクトに参加、消防団に入る、友達とたくさん遊ぶ、友達と旅行に行く…大学に入り、やりたかったことを叶えて充実した日々を過ごしていると思います。

中学卒業前から高校はコロナ禍で行事が全て中止や縮小という学校生活でしたので、今は、やりたいことができるということにありがたみを感じながら、できることは全てやるという思いで過ごしているのではないかと思います。あの頃は思うようにいかず悩むことも多くあり、色々な話をしました。的確なアドバイスはできなかったけれど、どうしたいのかを自分で考えることができるようにという思いで、話をしてきたつもりです。その思いが伝わっているといいなと思っています。今年は3年生になり、プロジェクトではリーダーを務めることになり、プレッシャーを感じている部分もあるのではないかと思います。さらには就職活動も始まり、不安なことも出てくると思います。これから苦しいことや辛いこともたくさんあると思いますが、今までのようにたくさん話をしながら、見守っていきたいと思っています。残りの大学生活も、さらに充実した日々を送ってほしいと思います。

想いをカタチに

国際コミュニティ学部 地域行政学科 3年 あら い ほの み 新井 萌愛

私は今、やりたいことを全力ですることができていて、とても充実した日々を過ごしています。私は地域創生について学び、地域と関わり、盛り上げられるような取り組みがしたいという思いがありました。さらにバイトもしたい、車の免許も取りたい、旅行にも行きたい、そんなやりたいことを全部できているのも家族が支えてくれるからだと思います。

母とは、大学受験の時から大学ではどんなことを学びたいのか、何をしたいのかなど、話すことが多かったですが、そのおかげで自分の中で、大学での目的や目標が明確になり、さまざまなことに挑戦することができていると感じています。大学に入学したあとでも、何か迷ったりつまづいたりしたら母に相談していて、とても支えられているなと感じています。時には厳しい意見をもらうときもありますが、とても勉強になっているし、私を思って言ってくれていることがありがたいと感じています。

大学3年生になり、プロジェクトのリーダーを務めたり、就活が始まったりと忙しい日々を送っていて、不安なことも多いですが、これからもやると決めたことには全力で取り組んでいきたいと思っています。そして、今まで支えてくれた母や家族に感謝しつつ、私自身も家族を支えられる存在になれるようにがんばっていききたいと思っています。

